

2008年2月21日(木)

アメリカ大統領 ブッシュ 様

革新・愛知の会(平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会)

2008年2月20日開催・第3回代表世話人会

米兵の女生徒暴行に強く抗議し、被害者への謝罪と、
日本からすべての米軍基地の撤去を求めます。

沖縄での米兵による女子中学生暴行事件に対して激しい怒りを持って抗議いたします。断じて許すことはできません。

何の罪もない、いたいけな女子中学生が受けた傷はどんな謝罪でもぬぐい去ることのできない、人間として許されない凶悪犯罪です。沖縄県民の悲痛な訴えをはじめ、国民の怒りを貴殿が真摯にこたえることを強く求めます。

この事件を受けて、アメリカ軍が「綱紀粛正」「外出制限・講習」などを口にしますが、何の実効性も持たないことは、その後も飲酒運転、泥酔して民家に侵入など米兵の起こす事件が後を絶たないことで証明しています。

米軍の引き起こす凶悪犯罪は、沖縄復帰の1972年以降、全国で7千件にも及びます。そのうち沖縄だけで5千件を超え、その1割以上が殺人や暴行などの凶悪犯罪であります。

あなた方の軍隊は、イラクやアフガニスタンで無辜の人々を殺戮している“殴り込み”専門部隊である海兵隊と空母機動部隊です。そして、この部隊の兵士が“凶悪犯罪”を日本国内で繰り返しているのです。

こうした“犯罪”をなくするためには、米軍が日本から出て行くこと以外に解決する道はありません。

私たちは、改めて以下のことを強く申し入れます。

- 1、被害者へ謝罪をすること。
- 2、すべてのアメリカ軍基地を撤去し、米軍の日本からの撤退を求めます。

革新・愛知の会(平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会)

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館403

TEL 052-872-6918 FAX 052-872-6919